

本検討会報告書作成の考え方について

ハザードマップのユニバーサルデザイン
に関する検討会(第5回)
令和5年3月17日

【報告書作成の基本的な考え方】

- ◆ これまでの検討会での委員の意見や使用した資料を元に構成

※一部使用した資料をこれまでの検討会の議論に合わせて修正等している

- ◆ 本報告書は、ハザードマップを作成・公表する義務である地方公共団体だけでなく、国や県さらには関係団体等も読み手として想定
- ◆ 本報告書は、視覚障害者の方にも伝わるために音声読み上げに対応した形で公表する

検討会報告書の構成

目次	主な議論された検討会・ワーキング会議	
はじめに	—	
第1章 水害ハザードマップとは	—	
1.1 ハザードマップについて	第1回検討会	
1.2 水害ハザードマップの定義		
1.3 ハザードマップに関する現状と課題		
1.3.1 ハザードマップの認知状況		
1.3.2 ハザードマップに関する現状と課題		
1.3.3 障害の特性に応じたハザードマップの作成状況		
1.3.4 障害の特性に応じたハザードマップの障害当事者への提供方法	—	
1.3.5 障害の特性に応じたハザードマップの現状と課題		
第2章 「わかる・伝わる」ハザードマップのあり方		—
2.1 検討に向けた議論の方向性		第1回検討会
2.2 支援者への理解促進		
2.3 避難計画作成における理解促進		
第3章 あらゆる主体のアクセシビリティを高めるために	—	
3.1 アクセシビリティを高めるための議論の方向性	第3回検討会	
3.2 あらゆる主体に「わかる・伝わる」ハザードマップ実現のための論点	第2回、第3回、第4回検討会	
3.2.1 あらゆる主体に「わかる・伝わる」ハザードマップの構成のための論点		
3.2.2 あらゆる主体に「わかる・伝わる」ハザードマップの構成	第3回、第4回検討会	
3.3 ハザードマップの「地図面」の充実		
3.4 ハザードマップの「情報・学習編」の充実		
3.4.1 あらゆる主体に分かる・伝わるハザードマップ（情報・学習編）の構成		
3.4.2 必要最低限伝えるべき情報・学習編の基本的な考え方	第3回、第4回検討会	
3.5 アクセシビリティの対応		
3.5.1 アクセシビリティについて		
3.5.2 Webアクセシビリティの現状	第1回、第2回、第3回、第4回検討会	
3.5.3 水害ハザードマップにおけるアクセシビリティ		
3.5.4 新たなツールを活用したアクセシビリティの向上	第1回、第2回ワーキング会議	
第4章 今後の「わかる」「伝わる」ハザードマップの姿	第5回検討会にて議論	
4.1 地図面の理解を促進するためのツールの整備		
4.2 情報・学習編の理解を促進するためのWebの整備		
4.2.1 あらゆる主体に「わかる・伝わる」ハザードマップ実現のためのWebサイトの構造		
4.2.2 情報・学習編Webサイトの具体的な構成イメージ(シンプル版)		
4.2.3 情報・学習編Webサイトの具体的な構成イメージ(一般的な自治体サイトに沿った高い層版)	第5回検討会にて議論	
まとめ		
おわりに	—	
参考資料	—	